

令和3年度 寄付報告書

みんなのきもち ありがとう



誰もが安心して
自分らしく暮らせる
地域社会を
みんなで作ります

社会福祉法人 横浜市社会福祉協議会
横浜市ボランティアセンター



あなたの寄付が
あなたの地域を支え続けます

審査・配分

申請

支援

啓発・報告

共感・寄付

企業・団体
市民の皆様

横浜市社会
福祉協議会

制度やサービスでは
解決できない
困りごとを
抱える市民

福祉活動団体

寄付のしくみ

皆様からの寄付は、本
会が行う寄付を活用し
た支援事業やボラン
ティア団体及び障害当
事者団体等への助成
金として活用されます。





ごあいさつ

「誰もが安心して自分らしく暮らせる地域社会をみんなでつくりだす」ための身近な地域での活動が、コロナが収まらない中だからこそ、着実に展開した令和3年度でした。厳しい状況に置かれた方たちを少しでも支援したいとの善意を各方面からたくさんお寄せ頂きましたことに感謝申し上げます。

社会経済活動がコロナ以前に戻りきらないため、今でも区社会福祉協議会や地域ケアプラザには様々なご相談が多く寄せられています。

政府や自治体も支援の取組を進めていますが、児童やひとり親世帯への支援など、より迅速できめ細やかな支援に市民の皆様の力が発揮されています。

辛く厳しい状況だからこそ、お寄せ頂いた善意を地域の幸せにきめ細かくつなげてまいります。変わらぬご支援、ご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

社会福祉法人
横浜市社会福祉協議会
会長
荒木田 百合



みんなで 咲かそう えがおの花

目次

寄付のしくみ	2
ごあいさつ	3
寄付のつかいみち(支援事業)	4
寄付のつかいみち(よこはまふれあい助成金) ...	6
ありがとうの声(物品寄付)	7
寄付をしていただいた方々の紹介	8
横浜市社会福祉協議会について	10

寄付のつかいみち（支援事業）

本会では、「ヨコハマで、すぐヨコへ。」をコンセプトに、寄付金を活用し、既存の制度やサービスでは対応できない困り事の解決を目指しています。

令和3年度は前年度の取組を継続するとともに、関係機関を通して把握した困りごとに対して、皆様からの寄付金を活用し、支援を行いました。その中からいくつかの取組をご紹介します。



🌱 ひとり親世帯への支援 🌱

「自分で選んだランドセル」を

「春に新一年生になる子どもにランドセルを買い手ができないひとり親世帯がいる」という声から始まりました。

この取組では、『自分で選ぶ経験』を大切に、事前にカタログや店頭で新一年生が自分で選んだランドセルをプレゼントします。

令和3年度は21名の新一年生にランドセルを寄贈しました。

～保護者様からのメッセージ～

- ・大切に使用させていただきます。このランドセルと一緒に6年間楽しく過ごしていきたいです。
- ・選べるほどのランドセル・・・息子もとっても喜んでいてニヤニヤが止まらないようでした。
- ・何度も店舗に足を運び、嬉しそうにランドセルを選んでいました。嬉しそうな姿を見ることができたのも企画に携わって下さった多くの方々のお陰です。本当にありがとうございました。



子どもが好きなランドセルを選んでいる様子



高等教育への進学を目指すために

ひとり親世帯への支援を進める中、コロナ禍による収入の減少で「塾に通わせる費用がなくなった」との声いただきました。

そこで高校生の進学を目的とした学習支援（英語教室）事業を立ち上げ、学習の機会を提供しました。

～生徒及び保護者様からメッセージ～

（生徒から）

- ・今年は弟が高校受験で塾に通うため、私は塾に通えず、このような機会はとても嬉しいです。私には看護師になるという目標があります。勉強を頑張って、患者さんに寄り添える看護師になりたいです。

（保護者様から）

- ・娘の「大学へ進学したい、英語を勉強したい」という想いがあつた中、このような学習機会を頂けたことにとても感謝しております。今後も夢に向かい、頑張ってもらえると思います。



講師からの個別指導を受けている様子

施設退所時・退所後の自立生活の支援を

児童養護施設等の退所時・退所後の支援は、各施設が独自に行っている実態があり、特に資金が必要な支援をすることが難しい状況でした。そこで、本会児童福祉部会（※）と連携し、施設を退所する児童等の就労や就学など、退所後の自立生活を支援するため、各施設を通して児童へ支援金をお渡ししました。

令和3年度は計37名の児童の支援につながりました。

（※）児童福祉部会…本会の会員である児童養護施設など60を超える施設にて構成されています。



児童福祉部会 部会長・副部会長

～児童及び施設からメッセージ～

（児童から）

- ・ご支援を頂きありがとうございました。お陰様で、希望していた大学への進学を果たすことができました。応援して頂いたことを忘れることなく、自分の夢の実現に向けて努力したいと思います。

（施設から）

- ・継続的にアフターケアが行えることになり、大変助かっております。夢を叶えるために試行錯誤している本人に対し、理解者として寄り添い、これからも応援を続けていきます。

生理用品の購入が難しい女性への支援を

コロナ禍における経済的な理由などから「生活費を切り詰めたことにより、生理用品の購入を控えざるをえない状況になった」という声が聞かれたことを背景に、男女共同参画推進協会を通して441名の女性に継続して使用ができる吸水ショーツをお渡しし、「生理の貧困」への支援に取り組みました。

～寄付を受け取った皆様からのメッセージ～

- ・生理用品が買えないことをあまり人に言えないので本当にありがたいです。
- ・生理用品は毎月必要ですが高いので、このような支援が本当に助かりました。
- ・このような支援をいただき、横浜市に引っ越してきてよかったと思います。

連携をした男女共同参画センター横浜南フォーラム南太田の職員



各取組の詳細・その他の取組についてはこちらの二次元コードから
ヨコ寄付特設サイトをご覧ください。



寄付のつかいみち（よこはまふれあい助成金）

よこはまふれあい助成金は、より豊かな地域づくりのために、
市民が自ら横浜市内で行う、地域福祉活動等の支援を目的として実施しています。

横浜市社会福祉協議会、各区社会福祉協議会を通して、地域の活動団体へ助成しました。

全 1,956 団体 総額 160,603,000 円

団体の主な活動内容：高齢者のための食事会や子育てサロン、障害児のイベントなど



助成団体からの『ありがとうの声』を一部ご紹介します

NPO 法人子どもと共に歩むフリースペースたんぽぽ(市域団体)

〈活動概要〉

不登校の子どもや若者の居場所、相談の活動

～団体からのメッセージ～

令和3年度は「当事者の声を発信する」というテーマのオンライン講座を実施し、不登校を経験した若者や、その保護者が感じたことなどを話していただき、参加者との交流ができました。本人やその親に原因があると思われがち那不登校の問題を理解していただく機会になったと感じています。今後も孤立を防ぎ、つながることを大切にしたい取り組みを行っていきたいと思います。本当にありがとうございました



オンラインでの交流会

NPO 法人 フードバンク浜っ子南(市域団体)

〈活動概要〉

食品の寄付を広く募り、食の支援を必要としている方々に無料で提供する活動

～団体からのメッセージ～

フードパントリーの参加者は毎回増加していますが、支援提供品の量と種類の充実を図り、申し込みを一人も断らず受け入れることができました。また、増加した運搬や仕分け作業等の活動も助成金により対応できました。

助成金はもとより、地域の皆様から寄せられた食品や日用品で、ひとり親世帯への食支援活動を広げることができました。皆様の温かいお気持ちに心から感謝いたします。



フードパントリー会場
提供品を選択する参加者

Friends にし(区域団体)

〈活動概要〉

外国籍の方へ日本語を教える活動

～団体からのメッセージ～

外国籍の方のための日本語学習用の書籍を取り揃えるためなどに助成金を活用しております。助成金のおかげで様々な教材を取り揃えることができました。また、活動周知や施設利用料など、事業を継続するためにも経費がかかるため、助成金は本当にありがたいです。



日本語教室のボランティア及び利用者

日本語の学習支援を必要とする外国籍の方のため、引き続き活動に取り組んでいきます。

ありがとうの声（物品寄付）

皆様から、車いすやイベントチケットなど、物品による寄付もたくさんいただきました。寄付を受けた施設・団体や個人の方々からのメッセージを紹介します。



〔日用品（子ども用のおむつや生理用品など）〕

コロナ禍により、生活にお困りの方へお渡しをしています。ひとり親世帯等への食の支援を行うなかで、「日用品の購入まで手が回らないこともあり、日用品の支援は非常にありがたい」との声を多くいただいています。



〔サーカスチケット〕

普段なかなか行く機会のないサーカスを子供たちに生で見せることができました。迫力やスリルを肌で感じて感動し、とても貴重な経験になり大変感謝しております。



〔野球チケット〕

今までテレビで見ていた野球を実際に自分の目で見ることで、選手の掛け声やグローブで球を取る音、会場の雰囲気などを感じ取ることが出来て、感動しました。野球を知らないながらも応援歌の手拍子に参加し楽しかったです。コロナ禍で楽しいことも少ない中で良い気分転換になりました。



〔サーカスチケット〕

サーカスとても面白かったです！こんなこと人間に出来るのか！と思うような目隠しの空中ブランコや十何個かを回すジャグリングなどをやっていて凄かったです。ぞうやホワイトライオンは可愛かったです。とてもたのしかったです！また行きたいです。

〔車椅子の寄付〕

新しい車いすを利用者の方もいきいきと嬉しそうに使っています。車いすの機種も施設のことを配慮して選んでいただいたようで、大変使いやすいです。



〔車椅子の寄付〕

ショートステイや送迎などで毎日使っています。使用頻度が高いものなので故障や修理が多く、新しい車いすは助かっています。

寄付をしていただいた方々の紹介（順不同）

皆様からいただく寄付金および寄付物品は、本会が行う各種事業での活用や横浜市内で活動している団体へ配分をされます。

昨年度もたくさんのご寄付をいただき、誠にありがとうございました。



善意銀行（金銭寄付） 26件 9,851,853円

- ・吟楽会 様
- ・永野福祉ネットワーク 庭木グループ 様
- ・よこはまシニアボランティアポイント登録者 様
- ・日清オイリオグループ 株式会社 様
- ・株式会社 高栄設備工業 様
- ・Dream 財団 様（4件）
- ・PC サポート隊ハマボラ 様
- ・山崎 泰則 様
- ・増野 恵 様
- ・粟飯原 智佳子 様
- ・横浜市社会福祉センター利用者一同 様
- ・横浜冷凍 株式会社 様
- ・榎本 健吾 様
- ・一般社団法人 横浜シンフォニエッタ 様
- ・株式会社ベルク フォルテ森永橋店 様
- ・MHI パワーエンジニアリング株式会社 横浜統括部 様
- ・一般財団法人よこしんふれあい財団 理事長 大前 茂 様
- ・株式会社 暮らしの友 横浜営業所 様
- ・土志田建設 株式会社 様
- ・匿名（4件）

善意銀行（物品寄付） 35件

- ・株式会社 セブン-イレブン・ジャパン 様（2件）
- ・宮内建設 株式会社 様
- ・公益財団法人 みずほ教育福祉財団 理事長 塚本 隆史 様（5件）
- ・一般社団法人 横浜港振興協会 様
- ・KDDI 株式会社 南関東総支社 様（2件）
- ・日本調剤 株式会社 横浜支店 様
- ・竹山 麗子 様
- ・株式会社 NB 建設 様
- ・公益財団法人 神奈川芸術文化財団 様
- ・市川 規子 様

- ・株式会社 日立物流南関東 様
- ・日立物流まごころ基金 様（2件）
- ・横浜労働者福祉協議会 様（2件）
- ・日本音楽文化交流協会 様
- ・独立行政法人 鉄道建設・運輸施設整備支援機構 様（2件）
- ・株式会社 セブン-イレブン・ジャパン 様
- ・株式会社 シェルガーデン 様
- ・株式会社 イトーヨーカ堂 様
- ・株式会社 そごう・西武 様
- ・株式会社 ヨークベニマル 様
- ・株式会社 赤ちゃん本舗 様
- ・株式会社 ヨーク 様
- ・株式会社 ダイイチ 様
- ・株式会社 アインファーマシーズ 様
- ・株式会社 天満屋ストア 様
- ・株式会社 イズミ 様
- ・小田急商事 株式会社 様
- ・三菱重工業 株式会社
- ・三菱重工グループ労働組合連合会 本社・横浜地区本部 様
- ・株式会社 KALBAS 様
- ・株式会社 RS 様
- ・木下サーカス 株式会社 様
- ・千代田化工建設 株式会社 様
- ・NTT テクノクロス 株式会社 様
- ・ENEOS システムズ 株式会社 様
- ・学校法人 駿河台学園 様
- ・株式会社 横浜スタジアム 代表取締役社長 藤井 謙宗 様
- ・匿名（2件）

よこはま あいあい基金 5件 3,412,300円

- ・よこはまシニアボランティアポイント登録者 様
- ・公益財団法人 神奈川霊園 様
- ・匿名（3件）

障害者年記念基金 7件 2,848,420円

- ・よこはまシニアボランティアポイント登録者 様(2件)
- ・浜住研 株式会社 代表取締役 齋藤 善信 様
- ・ライジング・フォース 株式会社 様
- ・株式会社 大宮ゴルフコース 代表取締役 甘糟 澄子 様
- ・匿名 (2件)

福祉基金 119件 75,310,997円

◎社協事業 23件 73,801,997円

- ・よこはまシニアボランティアポイント登録者 様
- ・矢野 滋子 様
- ・生活協同組合ユーコープ かながわ県本部 様
- ・宗教法人 真如苑 様
- ・萩原 孝一 様 (2件)
- ・株式会社 フロントピア 様
- ・es SOLUTIONS 株式会社 様
- ・横浜幸銀信用組合 理事長 呉 龍夫 様
- ・匿名 (14件)

◎ヨコ寄付 (生理の貧困) 96件 1,509,000円

- ・荒木田 百合 様
- ・櫻井 智子 様
- ・石田 昌 様
- ・WANG CILI 様
- ・関 佳史 様
- ・有限会社 湘南仲介センター 様
- ・仁科 恭輔 様
- ・五月女 哲夫 様
- ・勝又 慶香 様
- ・高橋 純子 様
- ・梅澤 肇 様
- ・吉田 あき子 様
- ・笹元 博美 様
- ・小菅 佐稚子 様
- ・登尾 享子 様
- ・宮崎 朋子 様
- ・柏倉 志乃 様
- ・田島 淑江 様
- ・石川 育 様
- ・藤澤 智明 様
- ・広橋 茂 様
- ・有田 奈美 様

長い間続けて
くださっている方も、

初めて寄付してくださった方も、
本当にありがとうございます。

- ・石井 美名子 様
- ・本田 桂子 様
- ・清水 晶子 様
- ・渡辺 洋子 様
- ・秋元 仁美 様
- ・白藤 香織 様
- ・近江 美保 様
- ・医療法人 LEADING GIRLS 様
- ・齋藤 美貴 様
- ・川田 将之 様
- ・横浜南陵ロータリークラブ 様
- ・匿名 (58件)

ヨコハマ寄付本で継続して寄付してく
ださっている方もいらっしゃいます。
ありがとうございます。

ヨコハマ寄付本 27,164冊 831,686円

- ・岩田 弘 様
- ・横浜市神奈川区社会福祉協議会 様 (3件)
- ・老人福祉センター 横浜市野毛山荘 様
- ・横浜移動サービス協議会 様
- ・片桐 龍美 様
- ・横浜市磯子区社会福祉協議会 様
- ・横浜市篠原地域ケアプラザ 様 (2件)
- ・株式会社 高栄設備工業 様
- ・今井 昭彦 様
- ・横浜市西区社会福祉協議会 様 (2件)
- ・サンシティみなとみらい EAST 様 (2件)
- ・横浜市港南区社会福祉協議会 様 (2件)
- ・横浜市麦田地域ケアプラザ 様
- ・横浜市社会福祉センター利用者一同 様 (3件)
- ・老人福祉センター ユートピア青葉
横浜市もえぎ野地域ケアプラザ 様 (2件)
- ・東芝エレベータ 株式会社 神奈川支社 様
- ・横浜市瀬谷区社会福祉協議会 様
- ・粟飯原 智佳子 様
- ・いつみの会 様 (2件)
- ・株式会社 ニューフレアテクノロジー 様
- ・横浜市旭区社会福祉協議会 様
- ・株式会社 日立ハイテクフィールディング 様
- ・三井住友信託銀行 上大岡支店 様
- ・匿名 (200件)

誰もが安心して 自分らしく暮らせる地域社会を みんなで作ります

横浜市社会福祉協議会は、民生委員・児童委員、自治会町内会などの地域組織、社会福祉関係機関・団体・施設、ボランティア団体など、さまざまな関係者が会員として参加、活動している協議体組織です。

引きこもり、社会的孤立、子どもの貧困といった新たな福祉課題にも、地域力で少しでも解決に向かうよう、本会は横浜における地域福祉の推進役として、地域住民や会員の皆様とともに、市民一人ひとりのニーズを受けとめ、身近な地域で見守り、支えあえる地域づくりを進めています。

横浜市社会福祉協議会への寄付について

横浜市社会福祉協議会では、
寄付を活用して様々な事業活動や取組を行います。



寄付を活用した支援事業
(学習支援)



地域の活動団体へ助成金の配分
(一人暮らし高齢者への支援)



災害時の支援

税控除について

横浜市社会福祉協議会にご寄付いただくと、所得税や法人税の優遇措置を受けることができます。

個人の場合

確定申告によって、所得税法上の「寄付金控除（所得控除）」（所得税法第78条）または「税額控除」（租税特別措置法41条）を受けることができます。また、地方税法上（住民税）の「寄付金税額控除」を受けることができます。横浜市民の方は、市民税と県民税の両方の控除を受けることができます。

法人の場合

確定申告によって、横浜市社会福祉協議会に寄付された金額の一部を法人税法第37条の規定により、「損金算入」することができます。

沿革

- 昭和 26 年 (1951 年) 横浜市社会福祉協議会 (以下、市社協) 設立
- 昭和 28 年 (1953 年) 市社協の法人化 (社会福祉法人設立認可)
- 昭和 56 年 (1981 年) 市社協の事務所が現在の横浜市健康福祉総合センターに移り、情報センター、ボランティアセンターの運営を開始
- 平成 9 年 (1997 年) ウィリング横浜開設
- 平成 10 年 (1998 年) 横浜生活あんしんセンター開設
- 平成 16 年 (2004 年) (財) 在宅障害者援護協会と統合し、障害者支援センター開設
- 平成 22 年 (2010 年) 横浜市障害者後見的支援制度がスタート
- 平成 24 年 (2012 年) 市民後見人養成・活動支援事業がスタート
- 平成 27 年 (2015 年) よこはま障害者共同受注総合センター開設
- 令和 2 年 (2020 年) よこはま成年後見推進センター開設

寄付金のお振込みはこちら🌱

善意銀行

三井住友銀行 横浜中央支店
普通 105897
〔口座名義〕
フク) ヨコハマシシャカイフクシキョウギカイ
福) 横浜市社会福祉協議会

クレジットカードでの ご寄付も可能です。🌱



ご寄付はこちらの二次元コードから可能です

遺贈 について



遺贈とは、遺言書を作成して、ご自身の財産の受取人やその配分先を指定することです。寄付のひとつのかたちでもあります。民法が定める法定相続より優先されますので、ご自身の意思に沿った財産の配分ができ、税制上の優遇措置もあります。

ヨコハマ寄付本 ～読み終わった本を寄付しませんか？～

読み終わった本の査定額が横浜市社会福祉協議会への寄付となり、地域の福祉活動等に活用されます。集荷の申し込みをいただくか、もしくは市内 25 箇所 (令和 4 年 3 月末現在) に設置されている回収ボックスをご利用ください。

また、令和 4 年 4 月より横浜信用金庫様の取組として本店及び全支店計 64 か所に回収ボックスが設置されています。こちらも査定額が横浜市社会福祉協議会への寄付となります。

※ヨコハマ寄付本の
詳細はこちらの
二次元コードから



※横浜信用金庫様の
取組の詳細はこちら
の二次元コードから





はら、
よこはまは
あったかい

社会福祉法人 横浜市社会福祉協議会 横浜市ボランティアセンター

〒231-8482

横浜市中区桜木町 1-1

横浜市健康福祉総合センター 8階

TEL 045-201-8620

FAX 045-201-1620

Email yvc@yokohamashakyo.jp

開館日 月～金 : 午前9時～午後9時

土・日・祝 : 午前9時～午後5時

休館日 毎月最終の月曜日

年末年始 (12月29日～1月3日)

全館休館日 (4月29日、11月3日、2月11日)



HPへのアクセスは
こちらの二次元コードもしくは
『横浜市 ボラセン』で検索